

2024年  
3月

こえ  
声をきかれにくい  
わかもの  
子ども・若者の  
いけん  
意見をきくために  
ちょうさほうこくしょ  
調査報告書

たよう  
多様な子ども・若者の意見反映推進のための調査研究

かぶしがいしゃ  
株式会社 NTT データ経営研究所

こどもまんなか  
子ども家庭庁

ちょうさほうこくしょ  
調査報告書について

しら  
調べてわかったことについて  
3つに分けてそれぞれ紹介しています。

- (1) こえ  
声をきかれにくい子ども・わかもの  
若者って？
- (2) どうしてこえ  
声をきかれにくいのかな？
- (3) どうしたらいけん  
意見が言いやすいのかな？

ちょうさけんきゅう  
この調査研究についてもっとくわしくし  
知りたいたい！  
こども・わかもの  
若者の声をもっとみ  
見てみたい！というひと  
人のために、

ほうこくしょ  
「報告書〈がいよう\*版〉」  
ほうこくしょ ぜんたいばん  
「報告書〈全体版〉（くわしくまとめたもの）」

ようい  
も用意しています。

\*がいよう … おおよそ。おお  
なご  
大まかな流れ。たいせつ  
ぶぶん  
大切な部分。



ちょうさけんきゅう  
調査研究についてもっとくわしくし  
知りたいたい人は、ひと  
ひだり  
左のマーク  
(2次元バーコード)をスマートフォンでよ  
読みとってください。  
リンク先のウェブサイトを見ることが  
できます。

# こえ 声をきかれにくいこども・若者<sup>わかもの</sup>って？

これまで日本では、「こどもの意見や声に耳をかたむけて、それをこどもに関わる政策にいかしていく」ということが十分にできていませんでした。

こども家庭庁はすべてのこどもの権利が守られ、安心して育つことのできる日常を、こどもの声を大切にしていっていきたくと考えています。

## 【意見<sup>いけん</sup>って？】



- ・ 思いや気持ち、考えなど、その子<sup>こ</sup>なりのとらえ方<sup>かた</sup>
- ・ 言葉<sup>ことば</sup>や文字<sup>もじ</sup>ではなく、体の動き<sup>からだ うご</sup>や表<sup>ひょう</sup>じょうなどで伝える<sup>つた</sup>  
場合<sup>ばあい</sup>もある

意見をきくことが大切<sup>たいせつ</sup>とはいっても、こども・若者<sup>わかもの</sup>のみなさんの中に、

- 意見をきく場所<sup>ばしょ</sup>に出かけることが難しい<sup>むず</sup>
- 意見を言うのがこわい、不安<sup>ふあん</sup>なので言いたくない<sup>い</sup>
- 自分の言葉<sup>ことば</sup>で話すのが難しい<sup>むずか</sup>

と感じる人はいませんか？

世の中には、大人が気を付けなければ、声がきかれにくいこども・若者<sup>わかもの</sup>がたくさんいます。

< 言葉<sup>ことば</sup>の説明<sup>せつめい</sup> >

\* 政策<sup>せいさく</sup> … 国や地方自治体<sup>くに ちほうじちたい</sup>による、社会<sup>しゃかい</sup>のための計画<sup>けいかく</sup>や取組<sup>とりぐみ</sup>

# こえ 声をきかれにくいこども・若者<sup>わかもの</sup>の例<sup>れい</sup>

- 学校<sup>がっこう</sup>に行っていないこども
- 障害<sup>しょうがい</sup>（しょうがい）のあるこども
- 大人<sup>おとな</sup>がするような家事<sup>かじ</sup>や家族<sup>かぞく</sup>のお世話<sup>せわ</sup>をしているこども（ヤングケアラー）
- まずしい暮らしをしているこども
- 外国人<sup>がいこくじん</sup>のこども・若者<sup>わかもの</sup>
- 都会<sup>とかい</sup>からはなれた地域<sup>ちいき</sup>にクラスこども・若者<sup>わかもの</sup>
- 親<sup>おや</sup>などからぼう力をうけているこども
- 性的マイノリティ<sup>せいてき</sup>のこども・若者<sup>わかもの</sup>
- いじめを受ける、受けたこども・若者<sup>わかもの</sup>
- 6才<sup>さい</sup>より小さいこども（乳幼児<sup>にゅうようじ</sup>）など

こえ 声がきかれにくいのはなぜなのか、どうしたら、そういうこどもたちの声をきき、政策<sup>せいさく</sup>にいかすことができるか調べました。

なぜ？ どうして？



どうしたらいい？



# どうしたら意見が言いやすいかな？

声をきかれにくいこども・若者の意見をきくために、大切にしてほしいこと、誰がきくか、どんな場所がよいか、どんな方法で意見を言える  
とよいか、どんなじゅんびや約束ごとがあるとよいか、を調べて、まとめました。

## 【きく人に大切にしてほしいこと】

- 「こどもは大人に比べて正しい意見を言えない」という決めつけをしてはいけない。
- 「これさえ行えばよい」という線引きをしないで、どのように意見をきいたらよいか、こどもや支えている人と話し合っ  
て決める。



### 誰がきいたらよい？

- 困っているこども・若者のことをわかっている大人
- 自分のことをよく知っている人
- よく知らない人、初対面の人
- かわいそうという目でせっしてくる人

### どんな方法で意見を言えるとよい？

- 時間にゆとりをもって、意見が言えるまで待つこと
- 言葉だけでない伝えかたを大事にすること
- 意見をきくための色々な方法を用意・工夫すること
- 答えをみちびくようなきき方  
(「〇〇だよな？/でしょ？/じゃない？」など)

### どんな場所がよい？

- いつもなじみにある居場所  
【例】児童館、こども食堂、青少年交流施設 など
- 同じ立場の人たちがいっしょにいる
- まわりに知らない人がいる場所
- 話を聞かれない人(家族をふくむ)が近くにいる場所

### どんなじゅんびや約束ごとがあるとよい？

- 嫌なこと、気をつけてほしいことを、前もって本人や支えている人にきいておく
- きいた意見が、勝手に誰かに伝わらないよう約束する
- 本人がうまく伝えられないときに、本人が伝えたいことを助ける(ただし、本人の言葉や気持ちを大事にする)